



センター通信 2016年 夏号

静岡キリスト教盲人伝道センター 2016年7月15日発行

巻頭メッセージ

「いつも喜びをもって」

静岡盲伝センター理事長 青山昭一郎

2016年7月を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか。東日本大震災から5年が経過し、熊本では地震が続いています。被災地のお一人おひとりにあなたの愛を注いで下さい。神様が守り支えて下さいますようにお祈り致します。

また、7月は参議院選挙があり、自民党が憲法改正に突き進むかどうかの大きな分かれ目となる月でもあります。自民党の憲法改正草案を、信仰の目によく見極めたいと思います。

イエス様や使徒たちが宣教されたイラク、シリアは戦争、テロで大きく破壊され、北アフリカからも多くの難民がヨーロッパに逃れようとしています。イスラム教の彼らが、どうしてイスラム教国に行かないのか不思議に思います。この現状を見る時、イスラム教と向き合わなければならない現実を思わされます。しかし、難民を通して神様が働かれ、三位一体の神様を知る機会が与えられていますことは感謝です。イスラム（アッラーへの服従）は37カ国の主要宗教であり、ムスリム人口は10億人を越えているということです。イスラムの登場と拡張の背景には、キリスト教の分裂と墮落があったことを、私たちは認識し、悔い改めなければならないと思います。

イスラム教は、ムハンマド、預言者の後継者（カリフ）の問題でスンニ派とシーア派の二大勢力が、21世紀のこの時代においても争いを繰り返していますが、キリスト教は、イエス・キリストの後継者はいません。イエス・キリストは神であられるからです。キリスト教は、使徒たちがかたち造ってきました。ですからイスラム教のような後継者争いはありません。私たちの大きな喜び感謝です。

私たちは、喜びの根拠をどこにしているか、ということを考えてみたいと思います。

信仰は、イエス・キリストが私を見られることから始まります。そのイエス・キリストを信じるということは、「一番大切なものを神様に委ねる」ことではないでしょうか。

自分で様々なものを掴まえている間は、心の平安を得ることはできません。自分の手の内に掴んでいるものを手放すことは、自分の生活の基盤をキリストに置くということです。ですから、自分の人生が今日終わるとしても、神様に基盤を置いているなら、心を動揺させられることはないと思います。フィリピの信徒への手紙を書いたパウロは、殉教を目前にした状況の中においても、なお喜びの生活を生き抜く力を持つことができました。

神様のなさることは全てよい、と信じて行くことは決断を要しますが、それが基盤になったとき、はじめて神様の愛がどんなに深いかが分かってくるのではないのでしょうか。

私たちが信仰を基盤にするということは、神様に自分を委ねることです。そこから信仰の喜び、感謝が生まれてくるのではないかと思います。

この手紙の中で、パウロが感謝したのはフィリピの人々が「福音に与っている」ことでした。福音に与るとはイエス・キリストとの交わりに与る、恵みをいただくという意味です。パンを食べ、満たされ、力づけられていくように、毎日、福音によって生かされることです。主イエスが私たちのために十字架について下さったことが私たちの慰めとなり、力、喜びとなっていくことです。

フィリピ1-9～10

「……知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。……」

私たちの生活の中で何が一番重要であるかを判断することは難しいことだと思います。生活の中にはいろいろな重要なものがあります。そして、その一つひとつは、決して無益なものはありません。しかし、その中から信仰を一番大切なものとして行くためには、他のものを捨てていかなければなりません。そこに何が一番重要であるかを判断することの難しさが、生命をかけていかなければならないものがあると思います。

私たちは、激動する現実の社会から目を避けてはなりません。そこに、遣わされている使命を忘れてはなりません。と同時に、それゆえにこそ、何よりも「神を喜ぶ」ところに立つ者でありたいと思うのです。

センターには多くの課題があります。その一つは、点訳・音訳の指導員、ボランティアの方々の継承です。このことを覚えていただき、この事業に是非参加して下さい、大切な時間を用いていただきたいと思います。切に願っております。

4月から新職員として「榎田めぐみ」さんを採用しました。現在19歳です。応援よろしくお願い致します。

点字図書館は音声・点字のデジタル・データ化を行なっていますので、製作機材やデータ保管、新職員採用のために費用負担が大きくなっています。この事業の維持・継続のために、運営に参加し支えていただけませんか。

維持会員を募集しています。一ヶ月100円から会員になっていただけます。

私たちは、神様が私たちに与えて下さいましたこの働きが、これからもセンターの働きとして、共に継続、進展していけますように努めて行きます。

注解書・神学書の音訳者募集について

注解書・神学書は、プロテスタントただ一つの点字図書館として、他の点字図書館にはない特徴を持ったセンターの蔵書です。読者が待っておられます。一人の方が全てを読むというのではなく、一冊の本を手分けして読んでいただけたらと思っています。

カール・バルトの「教会教義学」(全34冊)の音訳者も募集しています。

是非、センターにご連絡下さい。よろしくお願い致します。



図書案内

2016年3月～6月までに製作完成した図書です。

新音訳デイジー図書

1	愛を終わりまで	遠藤勝信	2008	いのち社	6時間 18分
2	浅子と旅する。	いのち社編	2016	いのち社	2時間 15分
3	新しい自分に出会う8つの習慣	ホン・ヨンギ	2015	小牧者	4時間 08分
4	あなたのためのイエス・キリストの質問66	寺林隆一	2013	ヨベル	4時間 50分
5	あなたへの愛のクリスマス	本田弘慈	1997	福音クセード*	1時間 12分
6	祈りのともしび	平野克己編	2015	日キ教団	1時間48分
7	エレミヤよ、何が見えるか	大島純男	1995	新教出版社	9時間03分
8	お父さんの手紙	イレネ・デーシュ	2014	新教出版社	2時間 36分
9	悲しんでいる人へのケア	斎藤友紀雄他	2010	キリスト新聞社	4時間 06分
10	神はなぜ戦争をお許しになるのか	ロイドジョンズ	2015	いのち社	5時間 02分
11	結婚の祝福と課題	トゥルニエ	2009	日キ教団	2時間 42分
12	現代のアダムとエバへのメッセージ	クシャナー	2006	サンパウロ	8時間 13分
13	試練の中にある友へ	遠藤勝信	2014	いのち社	10時間 24分
14	人生を支え導くもの	工藤信夫	2006	いのち社	2時間 51分
15	聖書に聴く	小塩 節	2005	青蛾書房	5時間 17分
16	戦争と教会 ナチズムとキリスト教	河島幸夫	2015	いのち社	4時間 43分
17	倒れても滅びず	結城絵美子	2015	いのち社	3時間 42分
18	伝道する教会、伝道する信徒	近藤勝彦	1995	日本伝道出版	3時間 22分

19	7172 鉄人と呼ばれた受刑者が神さまと出会う物語	ネヴィル・タン	2013	ヨベル	6時間 16分
20	日常の祈り 苦しみの時の祈り	シューラー	1989	聖文舎	1時間 05分
21	日本伝道の展望	近藤勝彦	2013	東神大	3時間 04分
22	ハイジの贈りもの	たかはしたけお	2015	いのち社	3時間 39分
23	遥かなる大草原	マックブライド 編	1989	世界文化社	5時間 23分
24	人が共に生きる条件	並木浩一	2011	新教出版社	8時間 38分
25	ふたりのエアリエル	ストレットフィールド	2014	教文館	5時間 15分
26	ペルシャ王宮に咲く花	工藤弘雄	2015	いのち社	3時間 32分
27	「放蕩」する神	テイモシー・ケラー	2015	いのち社	4時間 22分
28	ますますそのように歩んでください	遠藤嘉信	2015	いのち社	4時間 23分

遡及デイジー図書

29	嵐の中の教会	ブルーダー	1989	新教出版社	5時間 32分
30	1ダースのもらいっ子	ヘレン・ドス	2000	いのち社	3時間 51分
31	祈りを学ぶ	定家都志男	1993	キリスト新聞社	4時間 17分
32	語りかけ給う神	飯 清	1979	ヨルダン社	6時間 58分
33	神を見出した科学者たち II	E・C・パレット	1995	いのち社	8時間 11分
34	希望の旅路 聖書に聴く「老い」	李仁夏他	2001	日キ教団	4時間 19分
35	旧約聖書名言集	名尾耕作	1980	講談社	8時間 50分
36	壊れた私、元気になった	水谷恵信	2002	いのち社	5時間 53分
37	シェイクスピアと聖書	S・マークス	2001	日キ教団	14時間 46分
38	使徒的人間 カール・バルト	富岡幸一郎	1999	講談社	11時間 22分
39	聖書地誌	山内六郎	1971	聖文舎	6時間 19分
40	ハンネローレの遠い道	シュミットエラ	1978	いのち社	5時間 02分
41	福音書のイエス・キリスト 5 トマスによる福音書	荒井 献	1984	講談社	11時間 22分
42	福音の原点1	佐藤敏夫	1996	新教出版社	1時間 13分
43	福音の原点2	佐藤敏夫	1996	新教出版社	1時間 25分
44	復活の朝	樋口信平	1995	一粒社	6時間 16分
45	やさしさあふれて PBAラジオメッセージ第9集	羽鳥 明ほか	1995	PBA	1時間 50分
46	夕風に立つ	三浦光世	1999	教文館	2時間 52分

点訳図書

1	新聖書講解シリーズ 新約 9 テサロニケ〜ピレモン	木下奉子他	1983	いのち社	5冊
2	新聖書講解シリーズ 新約 10 ヘブル・ヤコブ	有賀喜一他	1983	いのち社	4冊
3	ガラテヤ人への手紙講解説教	北森嘉蔵	1999	教文館	3冊
4	教会づくり入門	榎本保郎	2013	教文館	2冊
5	女性のためのヤベツの祈り	ダーリン・ウイルキンソン	2003	いのち社	2冊
6	聖書信仰 その歴史と可能性	藤本 満	2015	いのち社	5冊
7	バルト・セレクション1 聖書と説教	バルト	2010	新教出版社	8冊
8	私は生かされている	矢部登代子	1994	いのち社	1冊

.....



会計報告

2016年度 6月までの会計報告です。

	費 目	年間予算	1-6月合計	%
収 入	献金：諸教派	1,500,000	596,875	40
	献金：改革派	6,000,000	1,684,174	28
	献金：静岡教会	930,000	59,0800	64
	雑収入	50,000	6,803	
	繰り越し	1,632,484	1,632,484	
	収入合計	10,112,484	4,511,136	45
支 出	事業費	2,990,000	846,685	28
	対外協力費	180,000	108,700	60
	一般管理費	6,890,000	2,861,441	42
	繰越	0	694,310	
	予備費(含基金)	52,484		
	支出合計	10,112,484	4,511,136	45

活動が支えられ感謝いたします。



お知らせ

☆夏季休館日のお知らせ

8月11日(木)～21日(日)まで 休館いたします。

☆選挙公報音声版のコピーと発送を行いました。

静岡県選挙管理委員会からの発注で、参議院議員比例区選挙公報音声版カセットテープ約700本のコピーと発送を6月末に行いました。



2015年3月～6月 献金者名

(敬称・回数略)

〈個人〉 青山鶴江、青山昭一郎、飯塚光喜、石丸新・重子、市原邦造・紀恵子、岩本たみ、内海和子、榎本嘉津代、太田善朗、岡田孝子、岡村秀昭、長田満、長村芳子、木崎フサ子、岸江弘、桑原健次、小林猛、佐藤恵子、塩田隆良、鈴木経子、田久保龍三、竹脇義果、多々良友彦、田中文江、田中文宏、田中雄二、土肥規子、西堀則男、西村永湖、西森統子、長崎秀子、野村純二、伴裕子、服部たえ子、二木良子、真柄周吾、松居勲、松浦正恵、松本典子、松本芙美、松本真佐子、宮坂和子、宮本博文、村上暁子、村瀬光枝、森末康子、柳沼敏子、矢野幸子、矢作正道、山下タカ子、山田ふみ子、横山米子、吉田京子、渡辺のり子、犬山教会維持会員、江古田教会維持会員、静岡教会維持会員、宝塚教会維持会員、千城台教会維持会員、瑞浪教会維持会員、吉原富士見教会維持会員

〈教会〉 (九州刊) 対馬福音キリスト教会、(単立)多治見聖書キリスト教会、のぞみ教会、(同盟基督)下馬福音教会、(日キ教団)隠岐教会、清水ヶ丘教会、田園調布教会、大和キリスト教会、(福音刊)教会連合)三番通福音キリスト教会、(福音バプ連)高岡バプテスト教会教会学校(団体)日本聖書神学校学生自治会、静岡県盲信徒会、(改革派)青森教会、厚木教会教会学校、太田教会、大宮教会、上福岡教会、川越教会、桑名教会、札幌教会、静岡教会、湘南恩寵教会日曜学校、神港教会、宿毛)教会婦人会、西神教会、関基督教会、仙台めぐみ教会、高松教会、秩父教会、東京教会、那加教会、花小金井教会、花見川キリスト教会、羽生栄光教会、山形教会、山梨栄光教会、横浜中央教会、四日市教会、中部中会長老会、中部中会執事活動委員会、中部中会連合婦人会、静岡盲婦人ホーム

尊いご支援献金を心より感謝申し上げます。

*** **

製作：静岡キリスト教盲人伝道センター 〒422-8041 静岡市駿河区中田 1-5-21

Tel 054-285-0496 fax 054-285-0746 郵便振替 00870-2-7003